

新型コロナウイルス感染症対策について

※【来園されるお客様へのお願い】については須坂市動物園HPよりご覧ください。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、動物ガイドなどを中止しています。



7月の休園日:6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

7月のおしらせ

ハッチに願いを
家畜動物たちを学ぼう

7月4日(土)5日(日)7日(火)
7月18日(土)19日(日)



アカカンガルーの赤ちゃんが 袋から顔を出しました。



2020年6月9日(火)にメスの「おとひめ」の袋(いくじのう)から赤ちゃんが顔を出しました。オスの「イチチ」とメスの「おとひめ」の間に生まれた子で、今回も「ハッチ」のひ孫にあたります。

当園ではアカカンガルーの「誕生日」を、赤ちゃんが袋から顔を出したのを飼育員2名同時に確認した日としています。よって赤ちゃんの誕生日は6月9日(火)になりました♪

しかし赤ちゃんはいつも袋から顔を出しているわけではありません。お母さんの「おとひめ」がエサを食べたり、お昼寝などでリラックスしている時に顔を出してくれることが多いです。午後3時以降のエサの時間が赤ちゃんの顔を見られる一番のチャンスです。

赤ちゃんが袋から顔を出す姿はこの時期にしか見られませんので、大きくなる前にぜひ会いに来てくださいね♥

オスかメスがわかる9月頃には名前の募集をしたいと思います。
それまで素敵な名前を考えておいてくださいね★

アカカンガルー担当 小林哲也



新しい仲間が入りました



6月5日(金)にトカラヤギのオス3歳が新しく仲間入りしました。

5月にメスのトカラヤギが仲間入りし、そしてまたオスが仲間入りと、南園が賑やかになってきましたよ。しばらくの間、南園のシカ舎に2頭で間借りしています。

早く須坂市動物園に馴染んでもらいたいです。そして2頭の相性が良ければ赤ちゃんにも期待していますので、今後2頭のトカラヤギ達に注目してくださいね。

トカラヤギ担当 小林 功



新人飼育員さんのおはなし

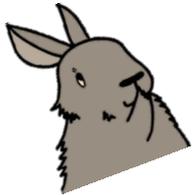


ポニーの担当になって2ヶ月が経ちました!

現在ポニーは3頭いて、ゆき、金太郎、はるそれぞれ年齢も性格も全く違います。例えば、掃除中にちょっかいを出してきたり、他のポニーのごはんまで食べてしまう食いしん坊だったり...人間と同じようにポニーたちも個性豊かです。

そんなポニーの飼育に少しずつ慣れてきて気づいたことがあります。それは、観察の大切さです。糞の色や形、体の見た目、ごはんの食べ方や食べる量など、毎日観察することによって、何かあった時に重要な資料になります。観察は、ポニー以外でも動物を健康に飼育する上で、とても大切です。健康管理の他にも面白い行動をたくさん見つけるチャンスですよ! みなさんも動物園にきたら色々な動物を近くで観察してみてくださいね

ポニー担当 山口 友里



動物たちはとっても演技が上手です。野生下で「具合が悪い様子」を見せると他の動物に襲われてしまうことがあるので具合が悪い様子を見せません。動物園のような安全な場所でも動物たちは具合が悪くても「元気なふり」をするので飼育員と獣医師それぞれ別の視点から動物さんたちを観察して健康管理を行っています。



獣医さんのお仕事



動物園のスタッフと聞くとまず飼育員が思いつきますが、動物園では獣医師も一緒に働いています。今回はそんな動物園の獣医さんの仕事について簡単にお話します。

朝、仕事に来て最初にすることは動物園の中を歩くこと。ただ歩くだけではなく、歩きながら動物園内の動物の様子を直接見たり、それぞれの動物の担当飼育員に動物の様子などを聞いたりします。

具合の悪い動物は診察をして治療が必要な場合は薬をあげます。薬は注射のほかにも、エサに混ぜて動物に飲ませたりもします。また動物の治療だけではなく、飼育作業など飼育員と同じ仕事をしていることもあります。そして、1日の終わりにはその日にどの動物にどんな治療をしたのか、しっかり記録をつけます。動物の健康を守るために、具合の悪い動物は早く見つけることがとても大事。動物をジューッと観察しているスタッフがいたら、もしかしたら獣医師かもしれませんよ。

獣医師 笹田和樹



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

TEL 026-245-1770 Fax: 026-248-1793